

中期目標の達成状況報告書 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	22 頁・ 計画 3－1・4 行	・・・船舶職員養成施設 <u>し</u>	・・・船舶職員養成施設 <u>とし</u>
2	24 頁・ 計画 4－1・7 行	学院教育 <u>改善</u> 支援プログラム」に・・・	学院教育 <u>改革</u> 支援プログラム」に・・・
3	24 頁・ 資料 12－1・ 表の欄外	※魅力ある大学院教育イニシアティブ に係る <u>新設科</u>	※魅力ある大学院教育イニシアティブ に係る <u>新設科目</u>
4	24 頁・ 資料 12－1・ 表の欄外	※※※大学院教育改革支援プログラム に係る <u>新設科</u>	※※※大学院教育改革支援プログラム に係る <u>新設科目</u>
5	32 頁・ 資料 1－4・3 行	抜方法 <u>検討</u> 委員会は・・・	抜方法 <u>研究</u> 委員会は・・・
6	36 頁・計画 2－ 2・タイトル・1 －2 行	・・・実験・ <u>実習</u> ・ <u>演習</u> を充実させる。	・・・実験・ <u>実習</u> を充実させる。
7	53 頁・ 計画 6－2・3 行	・・・「広域履修コース」、 <u>登録人</u> 養成・・・	・・・「広域履修コース」、 <u>登録水先人</u> 養 成・・・

8	53 頁・ 資料 29－1・ 表中 1 行	SOI (School <u>on</u> Internet) 概要	SOI (School <u>of</u> Internet) 概要
9	53 頁・ 資料 29－1・ 表中 2 行	SOI (School <u>on</u> Internet)・・・	SOI (School <u>of</u> Internet)・・・
10	56 頁・ (特色ある点) の 3 行	・・・「 <u>海洋・観測</u> 」・生物資源・・・	・・・「 <u>海洋観測</u> 」・生物資源・・・
11	56 頁・ (特色ある点)・ 4 行	19 年度に大学院 <u>教育改善</u> 支援プログラム・・・	19 年度に大学院 <u>教育改革</u> 支援プログラム・・・
12	59 頁・ 計画 1－3・ 3 行	<u>学技術センター</u> ・・・	<u>学技術研究センター</u> ・・・
13	59 頁・ 計画 1－4・ 2 行	・・・、公開許諾済論文登録作業開始し・・・	・・・、公開許諾済論文登録作業を開始し・・・
14	61 頁・ 資料 35－1・表中 (2 箇所)	大学評価 <u>委員</u> FD <u>委員</u>	大学評価 <u>委員会</u> FD <u>委員会</u>
15	64 頁・(特色ある 点) の下から 1 行	・・・、練習船の有効利用が <u>上げられ</u> <u>る</u> (計画 1－5)。	・・・、練習船の有効利用が <u>挙げられ</u> <u>る</u> (計画 1－5)。

16	67 頁・計画 1－3 の下から 3 行	・・・、健康診断等により <u>收拾したデ</u>	・・・、健康診断等により <u>収集したデ</u>
17	70 頁・ (優れた点) の 3 行	に対して学生所属の教員を割り当てた 学生支援教員 <u>制度</u> によって、・・・	に対して学生所属の教員を割り当てた 学生支援教員 <u>制度</u> によって、・・・
18	72 頁・【大学統合と (中略) 領域】・ 4 行	・・・、「 <u>環境保全と修復</u> (Ⅲ表:29-04)」 の・・・	・・・、「 <u>環境保全と修復</u> (Ⅲ表:29-04)」 の・・・
19	72 頁・【研究経費の 獲得】・ 1 行	共同研究、受託研究、寄附金、 <u>科学研 究費</u> の・・・	共同研究、受託研究、寄附金、 <u>科学研 究費補助金</u> の・・・
20	72 頁・資料 41－2 タイトル	資料 41－2 共同研究、受託研究、寄 附金、 <u>科学研究費</u> の・・・	資料 41－2 共同研究、受託研究、寄 附金、 <u>科学研究費補助金</u> の・・・
21	73 頁・ 資料 41－3 表中・ 1 行	<u>海洋科学部</u>	(削除)
22	73 頁・ 資料 41－4 欄外	・・・、平成 20 年 5 月 2 日の <u>時点で入 力済みの</u> 件数を・・・	・・・、平成 20 年 5 月 2 日の <u>時点で</u> の 件数を・・・
23	76 頁・ 計画 1－3・3 行	・・・、社会連携推進 <u>共同センター</u> ・・・	・・・、社会連携推進 <u>共同研究センタ ー</u> ・・・
24	77 頁・ 計画 1－5・1 行	<u>平成 16 年</u> に知的財産本部・・・	<u>平成 16 年度</u> に知的財産本部・・・

25	78 頁・ (優れた点) の 3 行	・・・、「 <u>環境保全と修復</u> (Ⅲ表： 29-04)」・・・	・・・、「 <u>環境保全と修復</u> (Ⅲ表： 29-04)」・・・
26	78 頁・ (優れた点) の 4 行	よび「 <u>先端学際融合領域</u> ：海洋資源・・・	よび「 <u>先端学際融合領域</u> ：海洋資源・・・
27	83 頁・ 計画 1－5・1 行	・・・、全施設・設備の利用状況を二 <u>覧</u> また・・・	・・・、全施設・設備の利用状況を二 <u>覧</u> また・・・
28	83 頁・ 計画 1－6・3 行	・・・また、 <u>社会連携推進共同センタ</u> <u>ー</u> の・・・	・・・また、 <u>社会連携推進共同研究セ</u> <u>ンター</u> の・・・
29	84 頁・ (判断理由) の 1 行	計画 1－1～ <u>1－5</u> に示したよう に、・・・	計画 1－1～ <u>1－6</u> に示したよう に、・・・
30	85 頁・ 計画 2－2・1 行	研究活動の広報組織を <u>社会連携共同研</u> <u>究センター</u> との連携・・・	研究活動の広報組織を <u>社会連携推進共</u> <u>同研究センター</u> との連携・・・
31	85 頁・ 計画 2－2・3 行	・・・。技術相談には、 <u>社会連携共同</u> <u>研究センター</u> ・・・	・・・。技術相談には、 <u>社会連携推進</u> <u>共同研究センター</u> ・・・
32	86 頁・計画 2－3 タイトル・ 1－2 行	・・・、その能力を十分発揮できるよ <u>うに反・責務相反</u> ・・・	・・・、その能力を十分発揮できるよ <u>う、利益相反・責務相反</u> ・・・

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正				
1	教育 1-11・(観点に係る状況) の 7 行	・・・指導のために <u>に</u> ・・・	・・・指導のために・・・				
2	教育 1-20 資料 1－V—③	問 11 「科学的認識を深化さ実践・・・」	問 11 「科学的認識を深化させ <u>せ</u> 実践・・・」				
3	教育 1-23 資料 1－Q—③	<table><tr><td>16 年 4 月 (法人化)</td><td>17 年 4 月 (<u>中期目標 期間開始</u>)</td></tr></table>	16 年 4 月 (法人化)	17 年 4 月 (<u>中期目標 期間開始</u>)	<table><tr><td>16 年 4 月 (法人化) (<u>中期目標 期間開始</u>)</td><td>17 年 4 月</td></tr></table>	16 年 4 月 (法人化) (<u>中期目標 期間開始</u>)	17 年 4 月
16 年 4 月 (法人化)	17 年 4 月 (<u>中期目標 期間開始</u>)						
16 年 4 月 (法人化) (<u>中期目標 期間開始</u>)	17 年 4 月						

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正																																
1	教育 2-4 資料 2－Ⅰ－①	<table><tr><td>区分</td><td>入学定員</td></tr><tr><td>海事システム工学科</td><td>65</td></tr><tr><td>海洋電子機械工学科</td><td>65</td></tr><tr><td>流通情報工学科</td><td>45</td></tr></table>	区分	入学定員	海事システム工学科	65	海洋電子機械工学科	65	流通情報工学科	45	<table><tr><td>区分</td><td>入学定員</td></tr><tr><td>海事システム工学科</td><td>65</td></tr><tr><td>海洋電子機械工学科</td><td>65</td></tr><tr><td>流通情報工学科</td><td>45</td></tr></table> ※罫線調整	区分	入学定員	海事システム工学科	65	海洋電子機械工学科	65	流通情報工学科	45																
区分	入学定員																																		
海事システム工学科	65																																		
海洋電子機械工学科	65																																		
流通情報工学科	45																																		
区分	入学定員																																		
海事システム工学科	65																																		
海洋電子機械工学科	65																																		
流通情報工学科	45																																		
2	教育 2-7 資料 2－Ⅱ－② ・最下行	<u>(外国人留学生等の履修方法の特例)</u>	(削除)																																
3	教育 2-8 資料 2－Ⅱ－④	<table><tr><td>海洋工学部</td><td>海洋電子機械工学科 (情報システム工学コース)</td><td>学 外 実習</td><td>27</td><td>21</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>海洋電子機械工学科 (情報システム工学コース)</td><td></td><td>5</td><td>8</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	海洋工学部	海洋電子機械工学科 (情報システム工学コース)	学 外 実習	27	21					海洋電子機械工学科 (情報システム工学コース)		5	8				<table><tr><td>海洋工学部</td><td>海洋電子機械工学科 (情報システム工学コース)</td><td>学 外 実習</td><td>27</td><td>21</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>海洋電子機械工学科 (情報システム工学コース)</td><td></td><td>5</td><td>8</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※罫線調整	海洋工学部	海洋電子機械工学科 (情報システム工学コース)	学 外 実習	27	21					海洋電子機械工学科 (情報システム工学コース)		5	8			
海洋工学部	海洋電子機械工学科 (情報システム工学コース)	学 外 実習	27	21																															
	海洋電子機械工学科 (情報システム工学コース)		5	8																															
海洋工学部	海洋電子機械工学科 (情報システム工学コース)	学 外 実習	27	21																															
	海洋電子機械工学科 (情報システム工学コース)		5	8																															
4	教育 2-13・下から 6 行	・・・、全学教務委員会・・・	・・・、全学教育委員会・・・																																
5	教育 2-16 資料 2－Ⅲ－⑥ ・下から 11 行	・・・中での取り上げる・・・	・・・中での取り上げて・・・																																
6	教育 2-18・(判断理由) の 1 行	・・・、水圏フィールド・・・	・・・、水圏科学フィールド・・・																																

	頁数・行数等	誤	正								
7	教育 2-18・(判断理由) の下から 3 行	・・・単位の実質化が・・・	・・・単位の実質化を・・・								
8	教育 2-20 資料 2－IV―③	奨学 <u>ほう</u> 賞	奨学褒賞								
9	教育 2-23・(観点に係る状況) の 4 行	流通・IT、・・・	流通・IT、・・・								
10	教育 2-23 資料 2－V―①	<table><tr><td>進学率</td></tr><tr><td>49.0</td></tr><tr><td><u>45.6</u></td></tr><tr><td><u>54.5</u></td></tr></table>	進学率	49.0	<u>45.6</u>	<u>54.5</u>	<table><tr><td>進学率</td></tr><tr><td>49.0</td></tr><tr><td><u>45.6</u></td></tr><tr><td><u>54.5</u></td></tr></table> ※文字の配置調整	進学率	49.0	<u>45.6</u>	<u>54.5</u>
進学率											
49.0											
<u>45.6</u>											
<u>54.5</u>											
進学率											
49.0											
<u>45.6</u>											
<u>54.5</u>											
11	教育 2-25 資料 2－V―④	<table><tr><td>参加学生数</td></tr></table>	参加学生数	<table><tr><td>参加学生数</td></tr></table> ※罫線調整	参加学生数						
参加学生数											
参加学生数											
12	教育 2-26・③事例 3 の 1 行	・・・単位を <u>取得</u> ・・・	・・・単位を <u>修得</u> ・・・								

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 3-2・本文の 2 行	・・・」 「食糧危機」 ・・・	・・・」 「食料危機」 ・・・
2	教育 3-2・本文の 10 行	・・・、 「食糧問題」 ・・・	・・・、 「食料問題」 ・・・
3	教育 3-3 資料 3－P－2 ・ 4 行	① 博士後期課程	② 博士後期課程
4	教育 3-3 資料 3－P－2 ・ 5 行	・・・技術の修得とともに	・・・技術の習得とともに
5	教育 3-13 資料 3－Ⅲ－② 学習指導法の工夫 の事例「討論、対 話型の講義」	費者もしくは・・・	消費者もしくは・・・
6	教育 3-15・（観点に 係る状況）の 7 行	いる付属図書館は、・・・	いる附属図書館は、・・・
7	教育 3-19・（判断理 由）の 1 行	・・・単位習得状況・・・	・・・単位修得状況・・・

	頁数・行数等	誤	正
8	教育 3-24・③事例 3の下から7行	・・・、「大学院教育改善・・・	・・・「大学院教育改革・・・
9	教育 3-24・③事例 3の下から5行	・・・平成17 <u>ー</u> 19年度に・・・	・・・平成17 <u>～</u> 19年度に・・・

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 1-2・本文 1 行	人口の爆発的増加による「 <u>食糧</u> 問題」、	人口の爆発的増加による「 <u>食料</u> 問題」、
2	研究 1-7・ 資料 1－Ⅱ－①・ 表中の平成 18 年 度・下から 2 行	海洋音響学’ 優秀論	海洋音響学会優秀論
3	研究 1-10・ 資料 1－Q－①	資料 1－ <u>Q</u> －① 海洋科学部の研究活動の状況と成果	資料 1－ <u>Ⅲ</u> －① 海洋科学部の研究活動の状況と成果
4	研究 1-11・7 行	・・・、外部資金の獲得金額は 2,892 千円から 5,015 千円へと・・・	・・・、外部試験の獲得金額は 2,892 <u>千円</u> から 5,015 千円へと・・・
5	研究 1-11・ 資料 1－Q－②	資料 1－ <u>Q</u> －② 海産食品安全プロジェクト活動報告（活動実績）	資料 1－ <u>Ⅲ</u> －② 海産食品安全プロジェクト活動報告（活動実績）
6	研究 1-11・ 資料 1－Q－③	資料 1－ <u>Q</u> －③ 海外との学術交流等の社会貢献	資料 1－ <u>Ⅲ</u> －③ 海外との学術交流等の社会貢献

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 2-2・本文の 21 行	・・・、平成 19 年度科学技術振興調整費の・・・	・・・、 <u>文部科学省</u> 平成 19 年度科学技術振興調整費の・・・
2	研究 2-6・ (判断理由) の下 から 6 行	・・・知的財産権の出願・取得状況外部研究資金・・・	・・・知的財産権の出願・取得状況、 <u>外部</u> 研究資金・・・
3	研究 2-8・ 下から 7 行	・・・。年間平均 <u>26</u> 編となっている。	・・・。年間平均 <u>18</u> 編となっている。
4	研究 2-9・3 行	・・・5 件の特許申請（うち海外 2 件） <u>がある</u> 実用に近い・・・	・・・5 件の特許申請（うち海外 2 件） <u>があり、</u> 実用に近い・・・
5	研究 2-9 資料 2－Ⅱ－③	重点的に取り組む領域「・・・（略）・・・」の研究成果発表状況。 <u>__</u>	重点的に取り組む領域「・・・（略）・・・」の研究成果発表状況
6	研究 2-11 資料 2－Q－①	資料 2－ <u>Q</u> －① 海洋工学部の研究活動の状況と成果	資料 2－ <u>Ⅲ</u> －① 海洋工学部の研究活動の状況と成果
7	研究 2-11・ ①事例 1 の下から 2 行	・・・毎年 20 件以上 <u>あり</u> 活発であり、・・・	・・・毎年 20 件以上 <u>と</u> 活発であり、・・・
8	研究 2-11・ ②事例 2 の 1 行	・・・受託研究及び <u>寄付金</u> の・・・	・・・受託研究及び <u>寄付金</u> の・・・

	頁数・行数等	誤	正
9	研究 2-11・ ②事例 2 の 5 行	共同研究は、 <u>17 年度</u> 以降は・・・	共同研究は、 <u>平成 17 年度</u> 以降は・・・
10	研究 2-12 資料 2－Q－②	資料 2－ <u>Q</u> －② 海洋工学部の研究活動の状況と成果（海上輸送技術の高度化）	資料 2－ <u>Ⅲ</u> －② 海洋工学部の研究活動の状況と成果（海上輸送技術の高度化）
11	研究 2-12 資料 2－Q－③	資料 2－ <u>Q</u> －③ 海洋工学部の研究活動の状況と成果（環境の保全と修復）	資料 2－ <u>Ⅲ</u> －③ 海洋工学部の研究活動の状況と成果（環境の保全と修復）

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 3-2・本文の 2 行	境汚染」、「 <u>食糧</u> 危機」等の問題・・・	境汚染」、「 <u>食料</u> 危機」等の問題・・・
2	研究 3-2・本文の 8 行	・・・「環境問題」、「 <u>食糧</u> 問題」を・・・	・・・「環境問題」、「 <u>食料</u> 問題」を・・・
3	研究 3-2・本文の 9 行	・・・、その解決策を <u>理学的</u> 、 <u>工学的</u> 、・・・	・・・、その解決策について <u>理学的</u> 、 <u>工学的</u> 、・・・
3	研究 3-6・本文の下から 12 行	寄 <u>付</u> 金の増加に・・・	寄 <u>附</u> 金の増加に・・・
5	研究 3-7・（観点に係る状況）の 5 行	・・・について、 <u>海洋科学研究科</u> において・・・	・・・について、 <u>海洋科学技術研究科</u> において・・・
6	研究 3-7・（観点に係る状況）の 8 行	資料にもあるように、 <u>海洋科学研究科</u> の研究内容は・・・	資料にもあるように、 <u>海洋科学技術研究科</u> の研究内容は・・・
7	研究 3-7・（観点にかかる状況）の最下行	を与える研究が <u>海洋技術研究科</u> では行われている。	を与える研究が <u>海洋科学技術研究科</u> では行われている。
8	研究 3-7・（判断理由）の 6 行	雑誌である <u>Nature</u> や <u>Science</u> 誌にそれぞれ・・・	雑誌である <u>Nature</u> 誌や <u>Science</u> 誌にそれぞれ・・・

	頁数・行数等	誤	正
9	研究 3-8 資料 3-Q-①	資料 3-Q-① 海洋科学技術研究科の研究活動の状況と成果	資料 3-Ⅲ-① 海洋科学技術研究科の研究活動の状況と成果
10	研究 3-8 資料 3-Q-①	<u>科学研究費</u>	<u>科学研究費補助金</u>
11	研究 3-8 ②事例 2 の 2 行	16 年度に 4 件であったものが、・・・	16 年度に 4 件であったものが、・・・
12	研究 3-8 ③事例 3 の 1 行 (2 箇所)	(<u>科研費</u> 、共同研究、受託研究、 <u>寄付金</u> の獲得の増加)	(<u>科学研究費補助金</u> 、共同研究、受託研究、 <u>寄附金</u> の獲得の増加)
13	研究 3-8 ③事例 3 の 3 行	<u>科研費</u> は平成 16 年～・・・	<u>科学研究費補助金</u> は平成 16 年～・・・
14	研究 3-8 ③事例 3 の 6 行	・・・。 <u>寄付金</u> についても	・・・。 <u>寄附金</u> についても
15	研究 3-8 ④事例 4 の 4 行	・・・、環境負荷を与えずに効率よく <u>生産システム</u>	・・・、環境負荷を与えずに効率よく <u>生産するシステム</u>
16	研究 3-8 ④事例 4 の 下から 3 行	的イノベーション創出」(<u>協働</u> 機関：日本水産・・・	的イノベーション創出」(<u>共同</u> 機関：日本水産・・・

	頁数・行数等	誤	正
17	研究 3-8 ④事例 4 の 下から 2 行	・・・、世界の二大科学雑誌である <u>Nature</u> やScience誌に・・・	・・・、世界の二大科学雑誌である <u>Nature</u> <u>誌</u> やScience誌に・・・